

事務連絡
令和3年6月10日

各都道府県研修担当課 }
各市区町村研修担当課 } 御中

総務省地域力創造グループ
人材力活性化・連携交流室

「全国地域づくり人財塾（自治大学校特別研修）」の申込期間の延長について

平素より、当室の業務運営に格別のご支援賜り誠にありがとうございます。

さて、令和3年7月9日（金）から12日（月）にかけ、当省自治大学校の協力を得て開催する標記「全国地域づくり人財塾（自治大学校特別研修）」について、令和3年5月27日事務連絡（別添）にてご案内したところです。

今般、いただいたご意見等も踏まえ、下記のとおり申込期間を延長することとしましたのでお知らせします。

貴団体の今後の地域活性化を担う職員育成にも大変有意義な機会であり、貴団体職員の本研修への参加につきご検討いただきますようお願いいたします。

なお、本研修は、地域おこし協力隊やNPO等まちづくり関係団体職員の方も対象としておりますので、関係部署へ周知につきましてもご協力願います。

記

- 申込期間
令和3年5月31日（月）から6月25日（金）

【問い合わせ先】

総務省地域力創造グループ
人材力活性化・連携交流室

担当 甘利、池田

電話 03-5253-5394

FAX 03-5253-5537

電子メール jinzai.renkei@soumu.go.jp

別 添

事 務 連 絡
令和3年5月27日

各都道府県研修担当課 }
各市区町村研修担当課 } 御中

総務省地域力創造グループ
人材力活性化・連携交流室

「全国地域づくり人財塾（自治大学校特別研修）」について

平素より、当室の業務運営に格別のご支援賜り誠にありがとうございます。

さて、令和3年7月9日（金）から12日（月）にかけ、当省自治大学校の協力を得て標記「全国地域づくり人財塾（自治大学校特別研修）」を下記のとおり開催いたします。

本研修では、地域づくりに実績のある著名な講師を招聘し、外部人材の活用手法や多様な主体の参画手法、あるいはポストコロナを見据えた戦略的な情報発信手法を学び、また受講生相互の事例発表を通じた知見の蓄積及びネットワーク構築を図り、さらにフィールドワークを通じた理論の体現を学ぶことで、地域づくりの中核を担う人材の育成を図ることを目的としております。

貴団体の今後の地域活性化を担う職員育成にも大変有意義な機会であり、貴団体職員の本研修への参加につきご検討いただきますようお願いいたします。

なお、本研修は、地域おこし協力隊やNPO等まちづくり関係団体職員の方も対象としておりますので、関係部署へ周知につきましてもご協力願います。

記

1 研修概要

別紙1のとおり

2 参加費用

受講料 無料

自治大学校寄宿舍利用費 8,700円（利用する場合）

交流会参加費 開講日にお知らせします。

研修期間中の食事については、各自ご用意ください。

3 申込期間

令和3年5月31日（月）から6月11日（金）

4 申込方法

別紙2に必要事項ご記入のうえ、総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室 甘利、池田あて次のいずれかの方法でご提出ください。

（6月11日（金）必着）

電子メール jinzai.renkei@soumu.go.jp

FAX 03-5253-5537

【問い合わせ先】

総務省地域力創造グループ

人材力活性化・連携交流室

担当 甘利、池田

電話 03-5253-5394

FAX 03-5253-5537

電子メール jinzai.renkei@soumu.go.jp

(別紙 1)

全国地域づくり人財塾 (自治大学校)

1 目的

地域活性化は、様々な知識・経験を持った人が、その能力とアイデアを活かしながら地域づくりに取り組み、様々な活動が展開されることが大切であり、こうした地域づくり活動を自らの手で企画し、実践できる人材(人財)、すなわち「地域づくり人」を、育成することを目的に特別研修を開催します。

2 研修科目

ア 講義

地域づくりに実績のある著名な講師による講義を行います。(4時限)

【講師敬称略】

(講義 1) 「これからの地域づくり人材」(7月9日(金) 13:00~14:10)

講師：大杉 覚(東京都立大学法学部教授)

1964年横浜市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)。成城大学専任講師、東京都立大学法学部助教授を経て、現職。総務省人材育成等専門家派遣事業アドバイザー、全国知事会地方自治先進政策センター頭脳センター専門委員、吉川市総合戦略審議会会長、住田町総合計画・住田町人口ビジョン・住田町総合戦略推進委員会委員長、多摩市第7期自治推進委員会会長、世田谷区参与(せたがや自治政策研究所所長)、その他、国・自治体関係の委員等を多数歴任。著書に、『これからの地方自治の教科書』(共著)第一法規、『人口減少時代の地域づくり読本』(共著)、『コミュニティの未来図』(近刊予定)。

(講義 2) 「ファシリテーションを活用した地域との協働」

(7月9日(金) 14:25~15:35)

講師：林田 暢明(地域力創造アドバイザー・TAO代表)

1977年生、福岡県北九州市出身。日本銀行、政策シンクタンクを経て2005年、福岡にTAO CAFEを創設。2011年からは東京と福岡の2拠点居住を実践しながら、飲食店を地域の核とした活性化や人材育成に取り組むモデルを各地でサポートしているほか、ベトナム・ホーチミン市にもUTAKATA BARをオープンするなど活動を展開。近年では、ファシリテーションを活用した地域づくりと教育分野に注力しており、角川ドワンゴ学園N高等学校顧問、北九州市立大学ビジネススクール特任教授として教鞭も執る。

(講義3) 「人が幸せになれる公園づくり」(7月12日(月) 13:00~14:10)

講師：富永 一夫 (一般社団法人スマート代表理事)

広島県出身、専修大学卒業。1999年、NPO法人NPOフュージョン長池を設立し、理事長に就任。2019年6月同会長を辞任し事業承継を完了。2017年8月より、「公園経営学校」を主宰。2019年5月から、「NPO経営学校」も主宰。著書：『NPOぼんぽこ』NHK出版)、『NPOの底力』、『NPOの後継者』水曜社)、2019年5月8日、新刊本『人間里山主義』(飲食文化研究所)を出版。NPOフュージョン長池は、2001年より、八王子市長池公園自然館の管理・運営を受託。同年、総務省関東総合通信局長表彰、国土交通省大臣表彰、東京都知事表彰受賞。2006年より、八王子市長池公園の指定管理者となり、現在では、八王子市81公園・緑地に発展。2016年度、総務省ふるさとづくり大賞(大臣表彰)を受賞。

※参考 NPO フュージョン長池<<http://www.pompoco.or.jp/>>

【地方創生カレッジ <https://chihouseisei.college.jp/>) 講座 No.80】。

(講義4) 「アフターコロナの情報発信」(7月12日(月) 14:25~15:35)

講師：殿村 美樹 (地方PR機構代表理事)

大手広告代理店でマーケティング経験を積んだ後、1989年PR専門のTMオフィス創業。1992年法人化し、株式会社TMオフィス設立、以来PR(パブリック・リレーションズ)を生かした地域活性化に注力し、独自ノウハウを確立。30年間で3,000件以上の実績を積み、代表的な実績に「今年の漢字」「佐世保バーガー」「ひこにゃん」「うどん県」のPR戦略と地方発国民的ブームがある。2019年(一社)地方PR機構を設立し、日本初の職業能力開発促進法に基づくPR講座を立ち上げ、大阪府認定「広報PR基礎講座」として開講、大阪の講座だけでなくWeb講座、出張講座を行うとともに、具体的なPRプランの立案アドバイスを行う。2015年より同志社大学大学院ビジネス研究科MBAプログラム「地域ブランド戦略」教員に就任。

イ 事例発表

受講者からの事例発表と意見交換を以下の分野に分けて行います。

(3時限、受講者は各時限異なるテーマを選択)

(テーマ1) 経済振興

地場産品発掘・ブランド化、起業、産業振興 等

(テーマ2) 地域コミュニティ

移住・定住促進、まちなか再生、集落再生 等

(テーマ3) 暮らしサポート

育児支援、地域共生、生活支援 等

ウ フィールドワーク（自主学习 ※参加任意）

先進的な取り組みを行っている地域を訪問し関係者との意見交換を行います。

訪問先：①多摩市若者会議（多摩市）

（7月10日（土）13:00～16:30）予定

若い世代・子育て世代が「多摩市に住んでみたい・訪れてみたい」と思うような魅力の創出・発信していくため、39歳以下の方を対象とした「多摩市若者会議」を開催。アイデアから生まれたまちづくり拠点「未知カフェ」の立ち上げ、合同会社MichiLabを設立し、地域活動の企画・実践を行う。

②長池公園〔フュージョン長池〕（八王子市）

（7月11日（日）13:00～16:00）予定

活動の地域は、市外から転入してきた新住民が多く、他の地域に比べ住民のつながりが希薄と言われてきたが、地域住民や企業、学校など様々な主体と協働・連携しながら公園・緑地の管理運営を中心とする活動を行い、地域のお祭りや市民参加による里山保全活動を展開することで、地域づくりを実践。

3 対象

地域づくりに関心のある行政職員・地域おこし協力隊員、地域づくりに取り組むNPO関係者 ※全課目を受講いただける方（途中参加・退席は不可）

4 研修期間

令和3年7月9日（金）から7月12日（月）

7月10日（土）、11日（日）はフィールドワークを実施します。

（参加任意）

5 申込受付期間

令和3年5月31日（月）から6月25日（金）

6 定員

36名（定員を超えた場合、別途調整をお願いすることもあります。）

7 申込できる研修生等の数

原則として各団体1名

8 選考の基準

本研修に参加するものについては、次の基準を満たすものとします。

- ・勤務状況が優秀であり、かつ、健康であって、高度の研修を受けさせるにふさわしい者（「健康」であることの基準は、自治大学校での研修生活を支障なく行うことができる者であることとします。）
- ・積極的な学習意欲を有する者

9 研修課目及び時限数

研修課目及び時限数（1時限＝70分）は、次のとおりです。ただし、実際の研修実施に当たり変更する場合があります。なお、研修は、全寮制の宿泊研修により行います。

●時間割

（講師敬称略）

7/9(金) (1日目)	11:30~12:30	受付
	12:45~13:00	開講式・オリエンテーション
	13:00~14:10	講義①（東京都立大学法学部教授 大杉覚）
	14:25~15:35	講義②（地域力創造アドバイザー・TAO 代表 林田暢明）
	16:20~17:30	事例発表 1
	18:00~	交流会（参加任意） ※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になることあり得ますので ご承知おきください。
7/10(土)	自主学習・フィールドワーク①（自主学習 ※参加任意） 多摩市若者会議（多摩市 案内人 林田暢明氏ほか）	
7/11(日)	自主学習・フィールドワーク②（自主学習 ※参加任意） フュージョン長池（八王子市 案内人 富永一夫氏ほか）	
7/12(月) (2日目)	9:25~10:35	事例発表 2
	10:50~12:00	事例発表 3
	13:00~14:10	講義③（（一財）スマート代表理事 富永一夫）
	14:25~15:35	講義④（地方 PR 機構代表理事 殿村美樹）
	15:40~16:10	閉講式

(別紙2)

全国地域づくり人財塾 (自治大学校) 受講申込書

下記の申込書にご記入の上

E-mail : jinzai.renkei@soumu.go.jp

または FAX 03-5253-5537 までお送りください。

(申込期限 : 令和3年6月25日(金) 17:00まで)

受 講 申 込 書

お名前 (ふりがな)		
E-mail		
電話番号		
ご所属	(所属・団体名)	
	(部署・役職名)	
フィールドワーク 参加希望 希望の場合「○」を ご記入願います。		【7月10日(土)】 多摩市若者会議 (多摩市)
		【7月11日(日)】 長池公園 [フュージョン長池] (八王子市)
宿泊の希望 3泊4日 8,700円	希望する	希望しない